

製鉄記念広畑病院は どうなるの？



➔ 県立姫路循環器病センターと 製鉄記念広畑病院の統合再編問題

兵庫県病院局は平成28年(2016年)12月、県立姫路循環器病センターと、製鉄記念広畑病院の統合再編基本計画を発表しました。基本計画では両病院を平成34年(20

22年)5月頃を目途に閉院し、それに代わって姫路駅東800mにある姫路市所有地イベントゾーンに新県立病院を開院するとしています。

➔ 姫路市南西部地域の医療機能確保は 住民の切実な願い

県立病院(公立病院)の役割は民間医療機関では担えない不採算医療や、民間では限界のある高度・先進医療などを住民に提供することです。そういう役割を担う新県立病院が姫路市内に整備されることに期待が広がっています。一方で、姫路市南西部に住む住民からは70年間にもわたり市南西部の地域医療を担ってきた製鉄記念広畑病院が閉院することに不安や戸惑いの声が広がっています。

てきた姫路市南西部地域の医療提供の確保を図っていく」として、製鉄記念広畑病院跡に新たな病院を誘致することを掲げました。また、平成29年(2017年)2月、姫路市議会は市有地を県に無償貸与する条件として「姫路市南西部地域の医療提供体制を確保するため急性期機能を有する医療機関を誘致すること」等、5項目を「必ず実現するよう強く求める」と決議しました。

県病院局は基本計画の中で「製鉄記念広畑病院が担っ

➔ 外科など手術処置のできる急性期機能確保を

一連の経緯を踏まえ、兵庫県病院局は平成30年(2018年)1月、「製鉄記念広畑病院の後医療候補の概要」(下記参照)を発表し、後医療候補にツカザキ病院(社会医療法人三栄会)を誘致するとしています。



平成30年1月29日、日本共産党議員団は「外科など、手術処置のできる急性期機能確保を」と知事・県病院局宛に要望書を提出。正面左から、苦瓜かずしげ、森ゆき子、谷川まゆみ各姫路市議。右は入江次郎県議。

しかし、住民からは発表された内容について「製鉄記念広畑病院では28診療科目あったが、わずか7科目になってしまう。これでは基本計画にある“製鉄病院が担ってきた医療提供の確保”にならない」「県は、昨年の広畑市民センターで開催された住民説明会の中で“急性期機能を残すことが大前提と考えている”と、繰り返し住民に説明している。しかし、後医療機関は外科も麻酔科もなく、手術適用患者も処置できない。これでは急性期機能とは言えない。約束が違う」などの声が挙がっています。県病院局は住民との約束を果たし、市議会決議を実現するためにも少なくとも外科など手術処置のできる名実ともに急性期機能を有した診療科誘致をするため、さらなる努力・交渉を行うべきです。

「製鉄記念広畑病院の後医療候補の概要」

- 1 実施法人 社会医療法人三栄会
- 2 場 所 姫路市広畑区夢前町3丁目1
現製鉄記念広畑病院跡地(新館の活用を想定)
- 3 診 療 科 7科 総合診療科、消化器内科、循環器内科、神経内科、眼科、人工透析科、リハビリテーション科
- 4 救急機能 内科2次救急輪番制に参加
外科については総合診療科において簡単な縫合処置等を実施、手術適用患者については、網干区にあるツカザキ病院の救急機能を拡充(40床増床)したうえで、専用車両で搬送し対応
- 5 病 床 数 90床(急性期45床、回復期45床)
- 6 開院予定 建物譲渡・改修後
(製鉄記念広畑病院閉院後概ね1年以内)



県会議員
入江次郎
県政報告
日本共産党
3月号
発行
姫路市本町 201
じょうかまち
編集委員会
Tel.288-4110

入江次郎

住民説明会にご参加を

製鉄記念広畑病院の後医療候補が内定し、兵庫県・姫路市・製鉄記念広畑病院・ツカザキ病院(三栄会)4者による住民説明会が開催されます。住民の皆さんの声を届けて下さい。どなたでも参加できます。質疑応答の時間もあります。是非ご参加を!

日時・場所

3月18日(日) 午後2時～
広畑市民センター大ホール